

講座④
(1/20)

町内会活動の活性化講座
～ニーズを捉えた心を動かすイベントのアプローチ～

テーマ別講座④では、町内会活動の活性化講座を実施しました。町内会役員を対象に、町内会活動やイベントに多くの住民に参加してもらうための考え方やポイントについて、講義を行いました。その後、グループに分かれて活動活性化のアイデアを出し合いました。

<開催概要>

- ・日 時：令和2年1月20日（月） 13:00～16:00
- ・場 所：青葉区役所 4階会議室
- ・参加者：21名
- ・内 容：講義、4グループに分かれてワークショップ



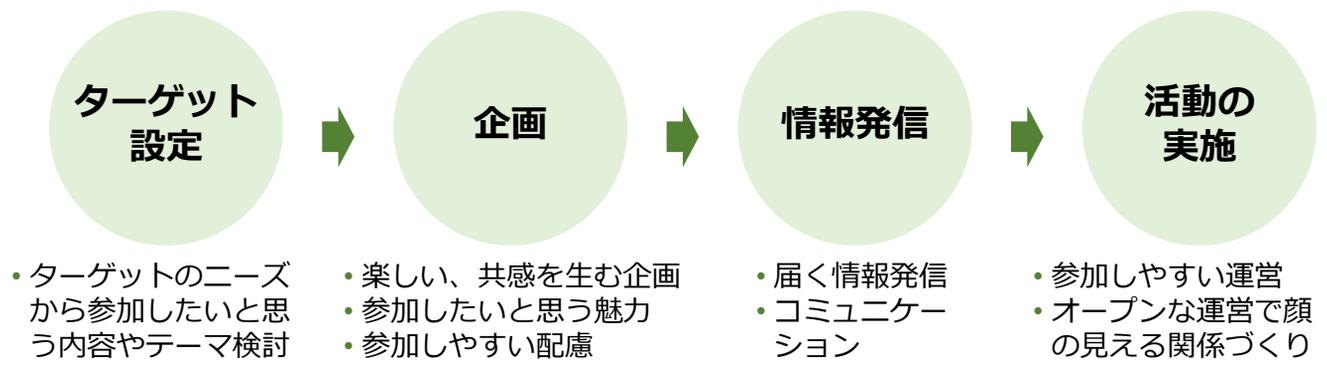
講義

講師の株式会社KITABA常務取締役 内匠庸介氏から、これまで町内会に関わりの少ない世代を巻き込むためのポイントやアプローチ方法、町内会が気をつけること、楽しく取り組むことの大切さなどについて、情報提供がありました。

ターゲットを絞った活動のアイデアについて、事例を交えながら説明しました。

【参考】町内会活動の企画～実施運営までの考え方

参加してほしいターゲットに合わせて活動を考えてみましょう！



ワークショップ

それぞれの町内会の活動状況などの情報交換をしながら、活性化させるため様々なアイデアを出し合いました。

活動やイベントに、より多くの人に参加してもらい関わってもらうために、ターゲットごとに「企画」や「情報発信」「活動の実施」の方法を考えました。

主なご意見（抜粋）

【ターゲット】

未加入者／子育て世代／学生／高齢者 など

【参加してもらうための企画の工夫】

たのしく／ゲーム性をプラス／飲み食い／時間短く
抽選会や景品付き／若い人に企画してもらう など

【情報発信の工夫】

チラシはイラスト付／他団体に声かけを依頼 など

各グループの意見は裏面でご紹介します

ワークショップの結果（グループごとの主なご意見）

『活動やイベントに、より多くの人に参加してもらい関わってもらうために』

1

グループ

■子育て世代に参加してもらう

- ・ 学校やPTA、おやじの会、子ども会とつながる
- ・ 既存の活動に子どもや学生を巻き込み、親世代にも来てもらう

■働き世代に参加してもらう

- ・ 活動の参加に報酬を払う

■地域のお店に参加してもらう

- ・ 花屋さんと連携してフラワーアレンジメントのイベントを行う

■参加したくなるアイデア

- ・ 清掃活動は1回30分と決めて行う
- ・ ごみ拾いをゲームにする
- ・ 活動終了後に飲み会・懇親会を行う
- ・ お菓子や飲み物を配る
- ・ 参加者も運営側も楽しめる工夫を

2

グループ

■学生に参加してもらう

- ・ 「あおば学×まちネット」を活用する

■若い世代に参加してもらう

- ・ 夏祭りなどで、特技を持っている人を募集して出演してもらう
- ・ 子ども会の親の情報をデータベース化して声かけリストを作成

■参加したくなるアイデア

- ・ 食を組み合わせる（試食ツアー、食やレストランのグレードを上げる）
- ・ 参加者の金銭的負担を軽減

■情報発信

- ・ 回覧では町内会以外のイベントやサロンなどの情報もお知らせ
- ・ 会報の作成や掲示板での情報発信

3

グループ

■子育て世代に参加してもらう

- ・ 子どもにイベントを企画してもらう
- ・ 景品を子どもに選んでもらう

■男性に参加してもらう

- ・ 男の料理教室

■参加したくなるアイデア

- ・ 防災訓練×ゲーム、おもちゃ交換

■情報発信

- ・ イベントチラシはイラストを入れる
- ・ マンションと連携して若い世代にチラシを配布

■ニーズ調査

- ・ 参加者アンケートでニーズを聞いて、今後の企画に反映させる

■担い手になってもらう

- ・ 若い人でも役員ができるよう、会議や活動時間を極力短くする
- ・ 準役員制度の導入や役員手当の支給

4

グループ

■子育て世代に参加してもらう

- ・ 夏祭りに抽選会をつける
- ・ イベントの企画内容に、若い世代のアイデアを反映させる
- ・ ママさんたちのニーズを取り入れてイベントの企画を柔軟に変えていく

■男性に参加してもらう

- ・ おやじの会などにつながる
- ・ 男性のニーズを聞いて、テーマ型のサークルをつくり町内会で助成する（ゴルフ会など）

■学生に参加してもらう

- ・ 高校生の部活のランニングの際に小学生の見守りをしてもらう

■高齢者に参加してもらう

- ・ 「子どものために」という誘い文句で子どもの見守りに参加してもらい、出てくるきっかけをつくる